



安曇野市天然記念物「安曇野のオオルリシジミ」 天然記念物指定と保存活用計画について

令和4年6月25日(土)
豊科公民館ホール

安曇野市天然記念物「安曇野のオオルリシジミ」
指定記念シンポジウム

安曇野市教育委員会 文化課



天然記念物ってなに？

2つの意義を併せ持つ文化財

○日本列島がたどってきた「自然史」としての意義

○私たちと自然との親密さを物語る「文化史」としての意義

従来の天然記念物は動植物の種のみを指定することが通例



近年は、周辺環境にも目を向けるようになってきている



なぜ天然記念物に指定したの？

天然記念物を守ることは、地域の自然とそれにまつわる文化を守ること。天然記念物の価値を明らかにして生かすことで、人々の自然観や地域とのつながりを育むことができる。



- オオルリシジミを大切に思う人が増えて、地域が良くなる
- 安曇野の特色や良さの再発見
- 安曇野の自然や文化、景観をたくさんの人に知ってもらおう



保存活用計画ってなに？

みんなで大切にしていくには、価値やルールを明確にしなければならない

天然記念物「安曇野のオオルリシジミ」の価値

最も重要な価値

種が存続すること

クララ（食草）

草地環境（生息環境）



保存活用計画ってなに？

- オオルリシジミの天然記念物としての
価値を明確にする
- 現状変更の基準**を明確にする



天然記念物としての**価値**と、その価値を損
なわなないために**保存と活用の取扱い基準**
を明文化した文化財の取扱マニュアル

安曇野市天然記念物
安曇野のオオルリシジミ
保存活用計画

2022 安曇野市教育委員会





天然記念物としての価値って？

重要な要素

オオルリシジミ 本州亜種	東北、中部・関東地方に生息していたが、現在は長野県内の安曇野市をふくむ 3 か 所でしか見られない。
クララ	唯一の餌植物（食草）。オオルリシジミの幼虫は、クララのつぼみと花だけを食べる。 かつては「ウジゴロシ」とも呼ばれて殺虫剤として利用された。
草地環境	オオルリシジミは草地環境に適応した種のため、草地が放置され森林化が進むと生息できない。 安定した草地環境を維持することが生息の条件。



天然記念物としての価値って？

重要な要素以外の守るべき要素

草地環境の 生物多様性	オオルリシジミが生息するような草地環境は、人間が意図的に維持してきた半自然環境で、そこに適応した生態系を育んできた。しかし、現代では急速に失われており、絶滅危惧種も多くなっている。オオルリシジミを保全することは、草地性の多様な動植物の保全につながる。
オオルリシジミを とりまく景観	草地環境を含む里山は、多様な景観と生態系がモザイク状に配置され、高い生物多様性が保持されている。オオルリシジミや草地環境の保全は、これらを取りまく安曇野らしい里山の景観の保全につながる。



天然記念物としての価値って？(まとめ)

オオルリシジミの絶滅危惧種としての希少性(保護すべき種)

クララを利用してきた先人たちの暮らしや、
生物多様性が高い里山環境の景観を知ることにつながる存在



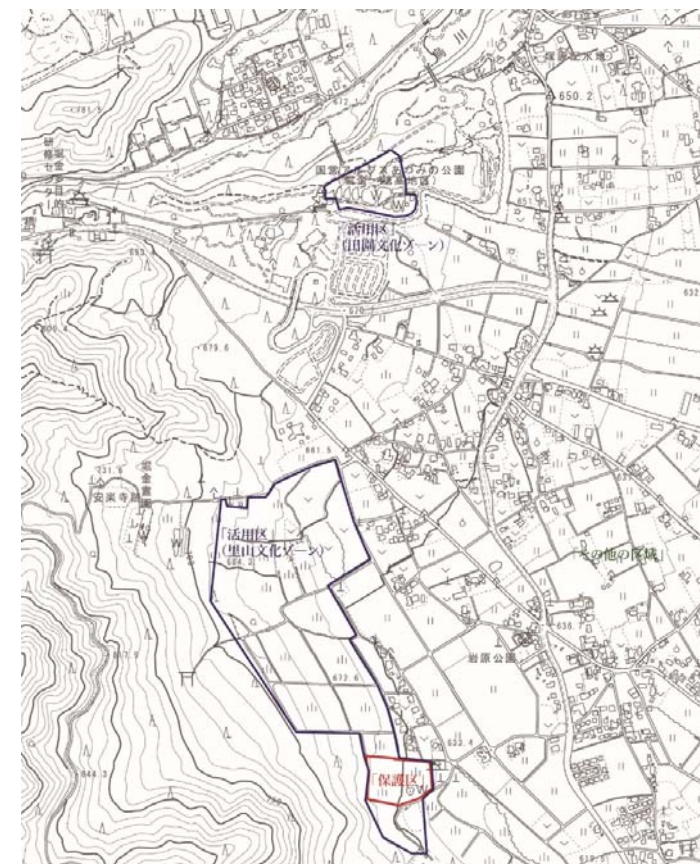
オオルリシジミを大切にすることが、安曇野の文化や生物多様性、
景観を大切にすることにつながる



現状変更の基準って？

天然記念物は現状変更が制限される

重要な要素	現状変更にあたる行為の例
オオルリシジミ 本州亜種	捕獲・採集・飼育・放蝶・標本の作製
クララ	草刈り・移植
草地環境	草刈り、植樹・植栽、生物の移入、土地形状の変更、建造物・工作物の設置・修理等



区域ごとに制限される行為・基準を明記



市の取り組み

関係団体と協力して、次のことに取り組みます。

- ☑ 国営アルプスあづみの公園の生息地で重点的に保護や啓発を行う
- ☑ オオルリシジミを大切にしてもらえそうな周知活動を行う
- ☑ オオルリシジミの保護をとおして、郷土愛が育まれるよう取り組む

生息地の近隣にお住まいの方へ…

通常の草刈りなどは、今までどおり行ってかまいません。

成虫が飛んでいる時期（5～6月）や幼虫がいる時期（6～7月）は、クララやその周りに気を配ってくださいますようお願いいたします。

オオルリシジミが
くらしています



安曇野市天然記念物
安曇野のオオルリシジミ

ご清聴ありがとうございました